

福岡県支部における公務災害・通勤災害の認定状況(令和元年度)

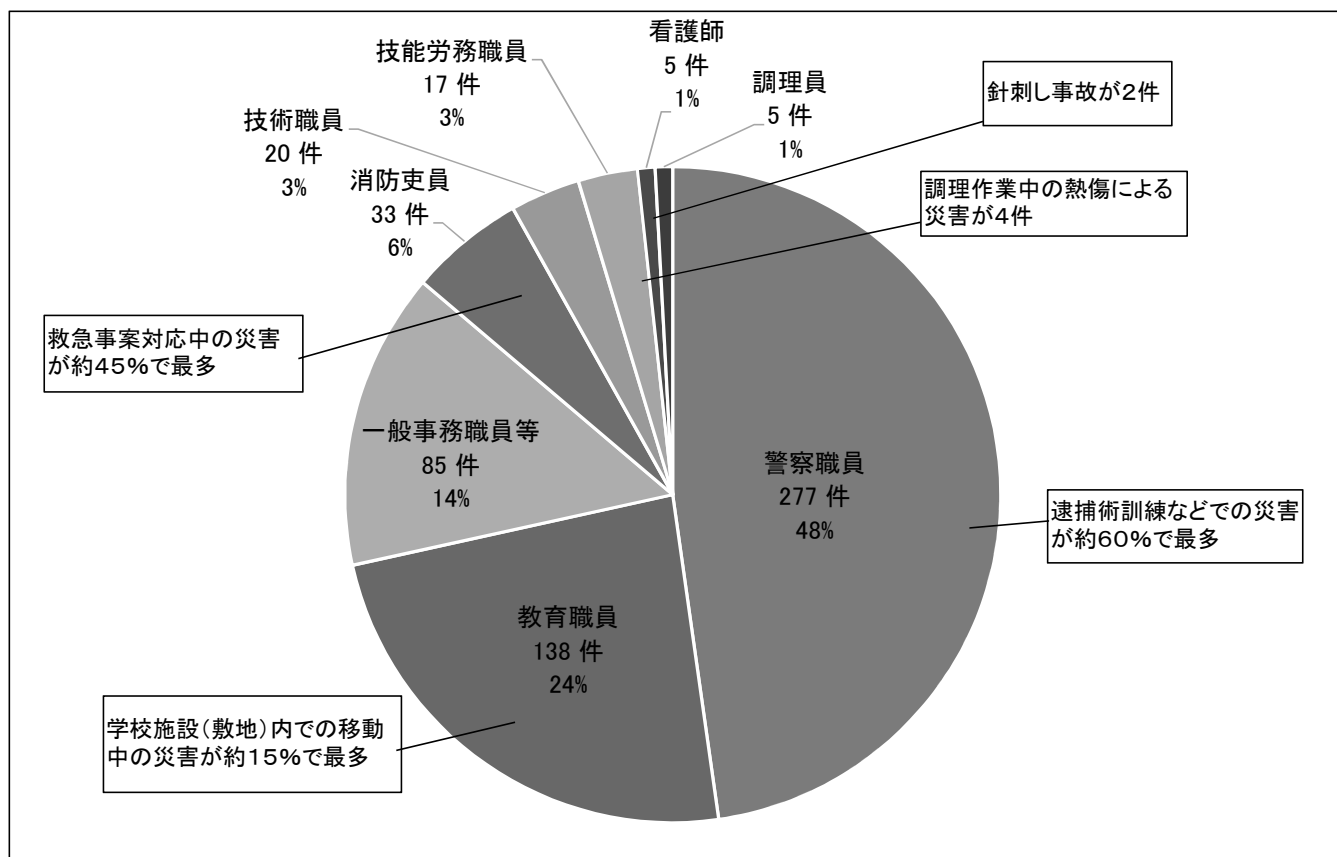
○公務災害・通勤災害認定件数

令和元年度の公務(通勤)災害の認定件数は632件、過去3ヶ年度の平均が621件で、概ね600件程度で推移しています。職員千人当たりの公務災害認定件数は警察が最も高い比率となっています。

団体種別	平成29年度			平成30年度			令和元年度			職員千人 当たり公務 災害認定 件数	
	公務	通勤	計	公務	通勤	計	公務	通勤	計		
県	知事部局等	38	8	46	27	6	33	30	7	37	4.1
	教育委員会	129	3	132	105	2	107	138	14	152	6.5
	警察	316	17	333	287	8	295	277	13	290	22.9
	小計	483	28	511	419	16	435	445	34	479	10.9
市	74	11	85	71	9	80	61	15	76	4.1	
町村	21	5	26	21	6	27	30	2	32	5.8	
一部事務組合等	31	3	34	31	3	34	44	1	45	8.7	
県支部合計	609	47	656	542	34	576	580	52	632	8.8	

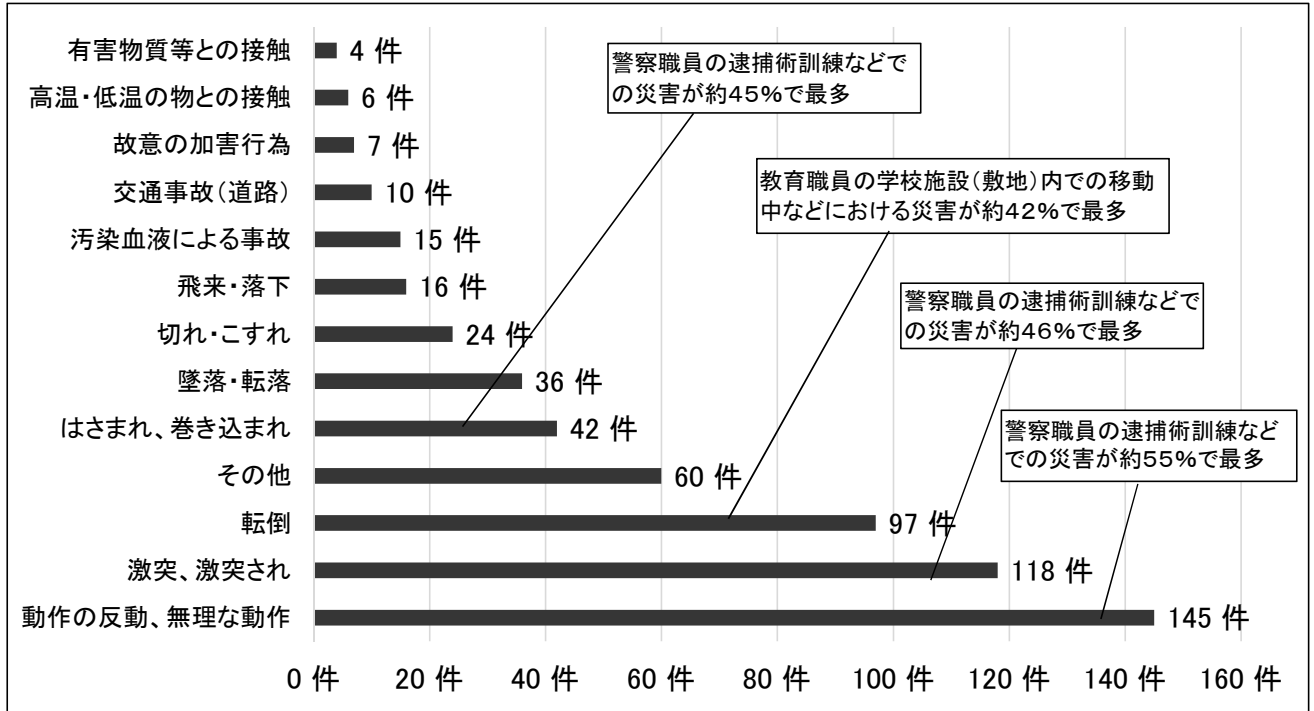
○職種別公務災害の認定状況

公務災害と認定された580件のうち、警察職員及び教育職員に係る認定件数は併せて415件と、全体の約72%を占めています。



○事故形態別公務災害の認定状況

事故形態別では、「動作の反動・無理な動作」、「激突、激突され」及び「転倒」で併せて360件と、全体の約6割を占めています。



○傷病別公務災害の認定状況

傷病別では、「骨折」、「打撲、挫傷」、「靭帯、腱断裂」及び「創傷(擦過傷含む。)」で併せて472件と、全体の約8割を占めています。

